

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

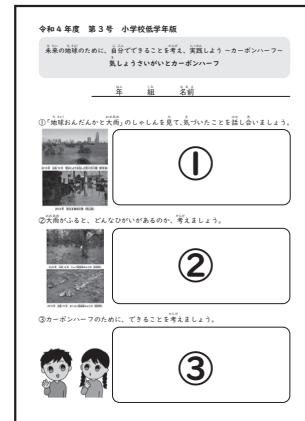
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～ き 気しょうさいがいとカーボンハーフ

①表題





②ねらい

- ・地球温暖化と大雨の関係について知り、環境や暮らしへの影響について理解する。
- ・気象災害が起きた時の防災行動や避難行動について考える。
- ・東京都の温室効果ガス削減の取組「カーボンハーフ」について、実践しようとする態度を育成する。

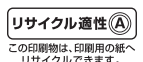
③本教材で扱う 主な内容

地球温暖化と気象災害、大雨に対する防災と避難、大雨による農作物の被害、カーボンハーフ、HTT

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、気が付いたことを話し合う。 ○ 地球温暖化により、大雨が増えていることを知る。	○ 近年、地球温暖化の影響により、気象災害（大雨）の発生が増えていることを説明する。	◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材②を見て、防災について学ぶ。	○ リンク先の動画を見せ、洪水時の避難方法等について理解させる。	◆ 掲示用教材② ■ 『【防災教育】小学生向け動画「洪水から身を守るには」(第1部)』【国土交通省】 
○ 掲示用教材③を見て、大雨などの災害から避難する際に用意するものについて考える。	○ 大雨などの気象災害が起きた時に、早めに避難する大切さや避難するときに用意する持ち物について考えさせる。	◆ 掲示用教材③
○ 掲示用教材④を見て、大雨により環境や暮らしにどのような影響があるか考える。	○ 大雨が降ることで環境や私たちの暮らしにどのような影響があるのか考えさせ、発表させる。	◆ 掲示用教材④ ◆ ワークシート②
○ 掲示用教材⑤を見て、カーボンハーフについて理解する。	○ 地球温暖化を食い止め、大雨を減らすためにはカーボンハーフの取組が不可欠であることを伝える。	◆ 掲示用教材⑤
○ 掲示用教材⑥を見て、自分たちができるカーボンハーフの取組について話し合う。	○ 気象災害を減らすために、自分たちの生活の中で今すぐできるカーボンハーフの取り組みについて話し合わせる。	◆ 掲示用教材⑥ ◆ ワークシート③ ■ 『【環境学習動画】みんなが進めよう！HTT第1回H[へらす]編』【東京都環境局】 

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



令和4年度 第3号 小学校低学年版

みらい ちきゅう じぶん かんが じっせん
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~
き
気しょうさいがいとカーボンハーフ

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

①「地球おんだんかと大雨」のしゃしんを見て、気づいたことを話し合ひましょう。



2019年 台風19号 増水により水没した荒川河川敷(東京都)



2018年 西日本豪雨災害(岡山県)

②大雨がふると、どんなひがいがあるのか、考えましょう。



2019年 台風19号 りんご畑被害のようす(長野県)



2019年 台風19号 はくさい畑被害のようす(長野県)

③カーボンハーフのために、できることを考えましょう。

